

平成27年度第2次入間市地域福祉計画進行管理報告書

1 安心して暮らせる福祉サービスをめざそう

第2次入間市地域福祉計画では、福祉における行政サービスの統合を引き続き目指し、既存組織間の情報共有や問題解決に向け連携した取組みができるよう、定期的な情報交換や発展的な議論の場を設け統合に向けたネットワーク強化に努めていくとしています。

平成26年12月からは入間市社会福祉協議会の「福祉困りごと何でも相談支援センター」が、平成27年4月からは生活福祉課に生活困窮者への相談窓口がそれぞれ開設され、横断的な連携による取組みがますます重要となっています。

昨年度より福祉部、健康福祉センター、地域包括支援センター等の専門職職員による情報交換や議論の場として「入間市地域福祉推進専門職情報交換会」を設置していますが、今年度は入間市社会福祉協議会主催の研修会に参加し、専門職による情報共有や多職種間における連携についての研修が行われました。こうした取組みを行うことで、特に多問題を抱える相談に対して関係機関が解決に向けて協議するなど、包括的な支援体制が取れるようになりました。今後も専門職間の連携は市民サービスの向上に繋がるものであり、継続的な取組みを望みます。

また、入間市社会福祉協議会では、平成27年度は2名の地域福祉コーディネーターが配置され、「福祉困りごと何でも相談支援センター」を開設し成果を上げています。住民が気軽に相談できる場所があることは大切なことと考えます。

平成28年度も地域福祉コーディネーターを1名増やし3名配置する計画にありますが、今後は住民に対する個別支援に加えて地域支援に向けた活動の充実にも期待します。

2 一人ひとりのふれあいを大切にしよう

地域に存在する資源の横断的な連携強化としては、平成27年11月に金子地区及び豊岡第二地区において「認知症徘徊者への声かけ模擬訓練」が行われました。これは、市民ボランティア団体「つながろう入間」への市の委託事業として行われたもので、金子地区と豊岡第二地区が同地域内での実施に手を挙げたものです。

金子地区では金子公民館及び周辺地区を会場として、「金子地区ひとり歩き安心サポー

ト会」が中心となり、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるまちを目指して行われました。

また、豊岡第二地区では東町公民館及び周辺地区を会場として、「豊岡第二地区ささえ合い笑顔の会」が中心となり「徘徊声かけ訓練」が行われました。

これらの取組みにあたっては各地区自治会、民生委員・児童委員、地域ボランティア、地域包括支援センター、交通安全協会等にそれぞれの団体の活動においてできる範囲での協力をお願いし実施されました。特に今年度は地区の小中学校との連携により多数の小中学生の参加がありました。「あいさつ運動」を実施している小中学生の参加は大変意義があり評価できるものと考えます。

地域に存在する資源の横断的連携強化の良い事例として、今後他の地区でも実施されることが望まれます。

3 みんなで福祉を支える地域をつくろう

今年度においても地域福祉における担い手やリーダー発見の取組みは充分とはいえません。計画では、人と人の出会いが「きっかけ」であるように住民と地域の出会いも「きっかけ」によって生まれることから、「きっかけづくり」を地域の仕組みの一部と考え、住民相互の様々な交流の場を確保していくとしています。

交流の場の確保に関する事業であるサロン活動や子どもの居場所作りなど様々な機会を捉えて、リーダーの発見、育成、ボランティアの活用を図ることを望みます。

4 まちづくりにつなげよう

災害時要援護者の安全確保に関する取組みとしては、地域防災計画に基づく災害時の避難行動要支援者に関する計画策定が進められており、このたび原案がまとまり公表されました。災害発生時の要支援者の避難支援等をより実効性のあるものとするため、個別支援の早期実施が望まれるところです。

また、住民が主体の地域づくりとしては、市内9地区（11箇所）で市・社協・近隣助け合い活動推進会の共催で「いるま福祉懇談会」が実施され、合計377名の方々に

参加いただき、地域福祉向上を目指した内容の話し合いが行われました。

平成27年度の「いるま福祉懇談会」では、「東藤沢地区」や「豊岡第二地区」で既に行われている「ささえ合い活動」の活動内容の報告も行われましたが、地域福祉計画が想定している9地区の福祉圏域としては、これら2地区以外では「ささえ合い活動」として組織化までには至っておりません。しかしながら、地区の各自治会等を範囲として「ささえ合い活動」の組織化に向け動き出した地区もあります。また、「近隣助け合い活動推進会」の活動範囲における「サロン活動」も各地区で活発になっております。

今後取り組みの方向性として、地区ごとの実情に合わせた取り組みが大切であり、引き続き地域に対して働き掛けを行っていく必要があると考えます。

以上、平成27年度の入間市地域福祉計画に基づく進捗状況を考察しましたが、地域福祉の進展には、自治会や福祉関係団体等のそれぞれの役割分担と連携が重要であり、緊密な連携の下に更に入間市の地域福祉が進展することを望みます。

平成28年3月31日

入間市地域福祉計画進行管理委員会